

審査の結果の要旨

氏名 恩賀 万理恵

中央アジア（カザフスタン、ウズベキスタン、キルギス、タジキスタン）域内において効率的に電力供給を行うには、地域に偏在した資源を有効活用するための地域連携が不可欠であるが、地域連携の実現を阻む国家間摩擦の大きな要因として、各国の政治的意図や政治リーダーの意思決定が挙げられる。今後効果的に援助事業を遂行するためには、中央アジア諸国の政治的側面に関する知識を援助機関の案件形成に活用する必要がある。

本論文では、まず、各国における政治リーダーの意思決定に関する知識を構造化し、ナレッジ・ベースを構築している。中央アジアの 2 大大国であるカザフスタンとウズベキスタンの政治リーダー（大統領）に着目し、両国とキルギス間の電力セクターにおける地域連携を分析対象としている。ナレッジ・ベースには各政治リーダーによるこれまでの意思決定やその社会的背景、政治リーダーの価値基準が詳細に記述され、ナレッジ間の相互関係も示されている。次に、構築されたナレッジ・ベースを活用した、政治リーダーによる意思決定の評価手法を提案している。事例として、カザフスタン、ウズベキスタンの政治リーダーが今後直面しうる意思決定を想定・評価し、ナレッジ・ベースの活用方法を提示している。最後に、いかに提案手法が地域連携促進を目指す援助機関による案件形成（策定・優先順位付け）へ貢献しうるかについて考察している。

ナレッジ・ベースには、インタビュー及び文献調査を基に整理・分析した各国の基礎的な背景情報に加え、政治リーダー個人の生い立ちや背景情報も記載されている。加えて各リーダーのこれまでの国内外における主な意思決定や活動のレビューを行い分析している。また、特に中央アジアの電力地域連携に関わる意思決定事例の分析結果もナレッジ・ベースには含まれている。分析から、各政治リーダーの様々な意思決定の主要因を彼らの主な価値基準としても集約している。

政治リーダーの意思決定は社会状況や歴史的背景に依存しており、主な価値基準を用いて意思決定を説明する場合に、そのような文脈依存性を考慮した意思決定の説明を可能にする知識の記述がナレッジ・ベースにて提供されている。

次に、それらナレッジ・ベースを用いて、カザフスタンおよびウズベキスタン両国それぞれが将来実行しうる意思決定の評価を行っている。各政治リーダーが将来下しうる意思決定の結果とそれを支持する背景理由が記述的に推定される。本論文で実施されたカザフスタン及びウズベキスタンの意思決定事例の分析を通じ、政治リーダーの意思決定評価におけるナレッジ・ベースの実際の活用手順が示されている。

それら本論文において実施した評価事例の一つより、政治リーダーの意思決定という観点から、国内電力開発事業が地域連携促進に貢献する可能性があることを示している。さらに、分析の結果は、本論文において提案している手法が、援助機関において電力地域連携を効率的に達成するための案件策定・形成をする上で、補助的役割を果たしうることを示唆している。同時に、これらの考察を通じ、援助機関における相手国の政治的側面に関する考察の必要性を改めて示唆しているとも言える。中央アジアの地域連携における政治リーダーの影響は大きいにもかかわらず、援助機関の案件形成においてそれらが明示的に考慮される仕組みはない。従って、本論文のリーダーの意思決定評価手法に関する提案は、援助機関における案件の策定や優先順位評価へ適用できると考えられる。また、効果的な案件形成のためのみならず、ナレッジ・ベースは暗黙知を形式知化できる場として、援助機関職員間の知識の共有化ツールとしても活用できるものである。

本論文が提案する意思決定評価手法は、援助機関職員や関係する専門家が暗黙知として保有している知識を形式知として明示化し、構造化することによって活用可能なものとしたナレッジ・ベースに基づくものであり、手法としての独自性が認められる。提案された手法は、援助機関などの実務において利用可能なものであり、政治的リスクの評価に用いることによって援助の有効性を高めることに資するものであり、有用性が認められる。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。